

第3学年 国語科学習指導案

研究主題

「読み解く力」の育成 ～NIEの活用を通して～

1 単元名 「くわしく表す言葉」（『新しい国語 三上』東京書籍）

2 単元の目標

文の中における主語と述語との関係に気付き、修飾語の役割について理解する。

【知識及び技能】

- ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。【（1）ア】
- ・様子を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。【（1）オ】

【思考力、判断力、表現力】

- ・目的を意識して、主語・述語・修飾語を使って、文を整えることができる。【（1）カ】

【学びに向かう力、人間性等】

- ・言葉がもつよさに気付くとともに、進んで文を作り、思いや考えを伝え合おうとしている。

3 単元の評価規準

観点	知識・技能 【知・技】	思考・判断・表現 【思・判・表】	主体的に取り組む態度 【主】
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none">・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。・様子を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	<ul style="list-style-type: none">・「書くこと」において、目的を意識して、主語・述語・修飾語を使って、文を整えている。	<ul style="list-style-type: none">・学習課題に沿って、主語、述語、修飾語の役割を理解して、積極的に文の中で使おうとしている。

4 目指す児童像

広く関心をもって様々な文章や図表などの非言語情報に触れることで文の組み立てを理解したり語彙を増やしたりし、自分の生活経験や知識と結び付けて、自分の考えや分かったことを相手に伝えられる児童。

5 仮説

新聞記事などの様々な文章や図表などから、自分の感じたことや考えたこと、分かったことを文で表す活動に取り組みせることにより、「読み解く力」を身に付けることができるであろう。

6 指導観

(1) 単元について

本単元では、文の中で言葉を詳しく説明する言葉である修飾語に着目させ、その働きを理解させることをねらいとしている。二年で学習した「主語・述語」の他に、「くわしく表す言葉」である修飾語があり、その修飾語（「何を」「いつ」「どこで」「どのように」など）が文の表現を豊かにすることができることに気付かせ、児童の言語生活に生かすきっかけになるようにする。また本単元では、修飾、被修飾の関係を捉えるための基礎となる力の育成を目指すものであり、四年の「文の組み立てと修飾語」につながっていく。

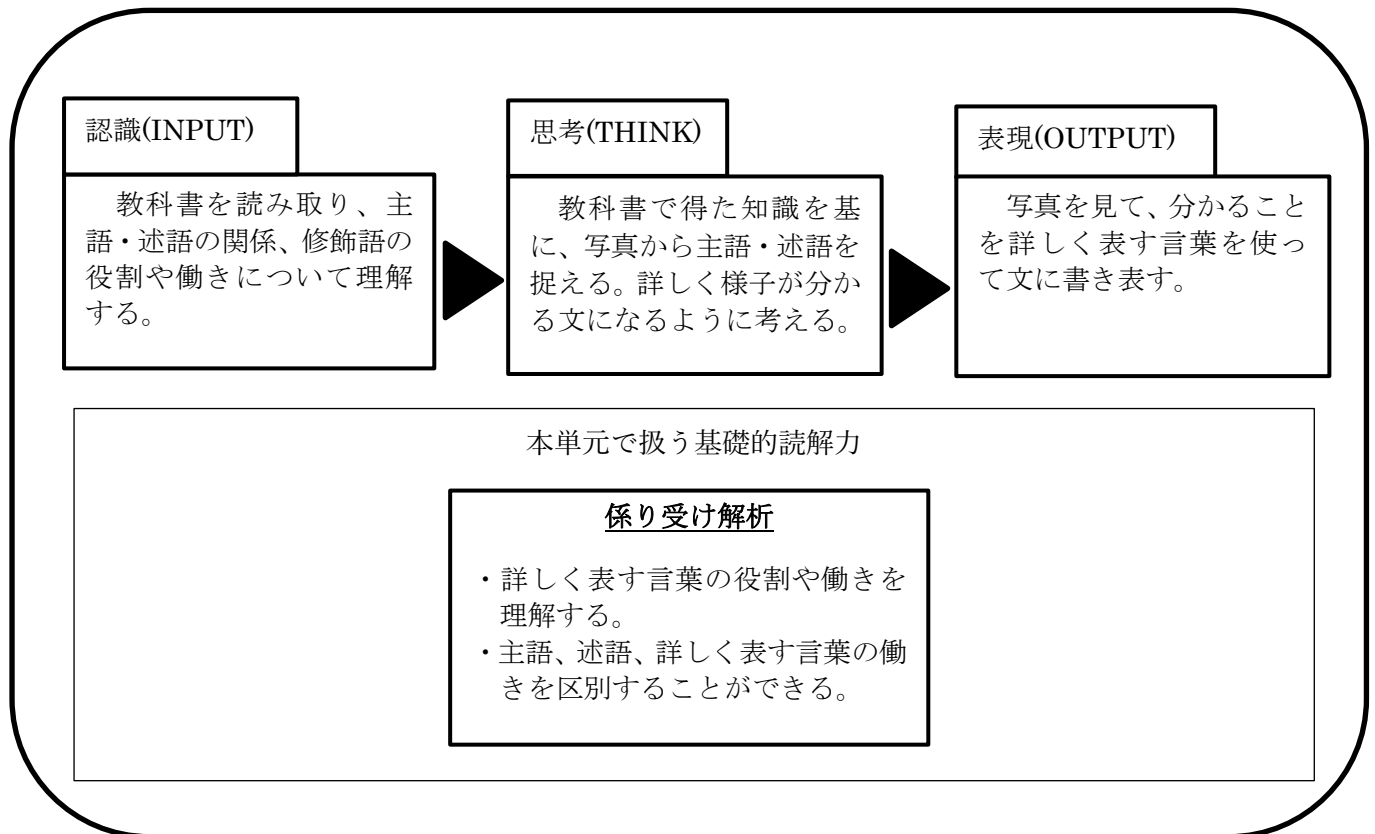
(2) 児童について

(3) 教材について

まず、既習の主語・述語の他に、文を構成する要素として詳しく表す言葉があることを知り、詳しく表す言葉にはどのようなものがあるか考えさせる。そして、さまざまな詳しく表す言葉が文の中でどのような働きをするかについて考え、理解させる。さらに、物事を詳しく伝えるために、どのような詳しく表す言葉を入れると良いかを検討させ、文を作らせる。

7 研究主題に迫るための手立て

(1) 「読み解く力」を身に付けるための指導の工夫



(2)NIEの活用

本単元では、主語・述語・修飾語の整った文を書くためにNIEを活用する。本時は、「主語、述語、詳しく表す言葉を使って、文を組み立てることができる。」ことを目標としている。教科書で学習した後、新聞記事から抜粋した写真を活用し、文を作ることができるかを確認する。新聞写真は、主語・述語が捉えやすいか、詳しく表す言葉を使って文を作りやすいかを考慮して収集し、選定した。

NIEタイムでは、5月から継続的に新聞スクラップに取り組んでいる。隔週で子供新聞を読み、児童が気になった記事を切り抜き、感想を書く活動に取り組んでいる。記事を読んでキーワードに線を引き、感想を書くことを繰り返し、気付いたことや分かったこと、感じたことなどを自分の言葉で書く力を身に付けさせている。また、記事から主語・述語を見付ける活動を継続的に行うことで、2年生の学習内容の定着を図ってきた。そのため、書いたり読んだりする時に、主語、述語を意識している児童が多いことが、アンケート結果にも表れている。

単元終了後は更に、記事から主語・述語だけでなく、修飾語を見付ける活動も行っていく予定である。

8 指導計画(全3時間)

	○主な学習活動	読み解く力との関連	
		視点	□指導上の留意点◆評価規準 ☆NIEの活用
1	・主語・述語以外の詳しく表す言葉の役割や働きを理解する。	係り受け解析	◆知 詳しく表す言葉の役割や働きを理解している。 □ 様々な詳しく表す言葉が文の中でどのような働きをするかについて考えさせる。
2	・文の中の言葉の役割や詳しく表す言葉の働きを区別する。	係り受け解析	◆知 主語、述語、詳しく表す言葉の働きを区別することができる。 □ 詳しく表す言葉を見付け、それぞれの働きを確認する。
3 本時	・主語、述語、詳しく表す言葉を使って、文を組み立てる。	係り受け解析	◆思 新聞写真を詳しく説明するために、どのような言葉を使えばよいかを考えている。 ◆主 詳しく表す言葉を入れることの良さに気付き、詳しく表す言葉を入れて文を作ろうとしている。 □ 主語・述語・修飾語を色分けして提示し、文の組み立てが視覚的にも理解しやすいようにする。 □ 詳しく表す言葉が思い浮かびやすいように働きの一覧を入れたワークシートを用意し、言葉を表出できるようにする。 ☆新聞写真

9 本時の学習(3/3)

(1)本時の目標

分かりやすく伝えるために、主語、述語、詳しく表す言葉を使って、文を組み立てることができる。

(2)展開

	○主な学習活動・予想される児童の反応	□指導上の留意点◆評価規準(方法) ※読み解く力との関連 ☆NIEの活用
導入 5分	1 前時の復習をする。	□前時の学習の例文を通して、主語・述語の確認をする。 □詳しく表す言葉にはどんな働きがあったかを思い出させる。「いつ」「どこで」「どんな」「何を」「どのように」など) ※〔係り受け解析〕
展開 30分	2 本時のめあてを確認し、詳しく表す言葉を使って文を作る。 ○新聞写真①を見て、どんな様子なのか考える。 ・「馬が泳ぐ。」	☆主語・述語が捉えやすく、詳しく表す言葉を使って文を作りやすい写真を使う。 □主語・述語だけの文を考えさせる。 □主語と述語だけでは、どんな場面なのか分かりにくいことを実感させる。
	めあて 様子がよく分かるように、 文を作ろう。	くわしく表す言葉を使って
	○詳しく表す言葉をワークシートに書き込み、分かりやすく伝える文を作る。 ○発表する。(ペア) ○発表する。(全体) ○新聞写真②を見て、詳しく表す言葉をワークシートに書き込み、分かりやすく伝える文を作る。 ・風車 ・女の人 ○発表する。(全体)	□全ての働きを入れなくてもよいことを確認する。 ◆主語・述語・詳しく表す言葉を入れて文を作っている。(ワークシート・発言) ※〔係り受け解析〕 □詳しく表す言葉を見付け、それぞれどんな働きなのかを確認する。 □様々な詳しく表す言葉があることやその言葉の違いのおもしろさに気付かせる。 □新聞写真の場面について説明し、主語になるものを意識させる。 □新聞写真②が終わったら、他の新聞写真③④に取り組むことを伝える。 □主語が「風車」と「女の人」の2つで文が作れることを確かめる。

<p>まとめ 10分</p>	<p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しく表す言葉をたくさん入れて文を作ることができた。 ・同じ写真でも、いろいろな言葉で説明していた。 	<ul style="list-style-type: none"> □自分で詳しく表す言葉を使って文を作ったり、みんなの作った文を読んだりして、気付いたことや思ったことをワークシートに書かせる。 □お昼の学習で、新聞写真の記事を実際に読むことを予告して終わる。
--------------------	---	---

【授業を見る視点】

(1)「読み解く力」を支える基礎的読解力を伸ばすための指導の工夫について

主語・述語・詳しく表す言葉を使って文を組み立てるのに、ワークシートは有効だったか。

(2)NIEの活用

学習教材として活用することが、児童の想像を広げ、主語・述語だけでなく、詳しく表す言葉を入れて文を組み立てることに役立っていたか。